

## Yusuhara a Home from Home (第 21 部)

### 年末年始のお祝いあれこれ (A Multicultural Holiday)

梶原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

ちょうど2年前のニュースレター(第9部「クリスマスのお話」参照)で、クリスマスを祝う意味と、なぜそれが多くの人たちにとって大切なものなのかをお話しました。最近の入国制限の解除にともなって、ここ数年では最も、日本を訪れる外国人旅行者が増えています。ひょっとしたら、高知まで足をのばす方も中にはいらっしゃるかもしれません。ですからここで、クリスマスが万人にとってのお祝いの日であるとは限らないことを心のどこかに留めておくのは、大事なことのように思えます。とはいえ、クリスマスではなくても、何らかの形で年末年始を祝うのは、やはり誰にとっても重要な意味をもっています。

一般的に、12月上旬から1月上旬は「お祝いの季節(festive season)」として知られています。「お祝い」という言葉の意味は、飾りつけをしたり、親交を深めたり、パーティを開いたりすることを指します。もともとはキリスト教の祝日であるクリスマスはこの時期に入っていますし、ユダヤ教の「ハヌカ」、アフリカ系アメリカ人の間で祝われる「クワンザ」、大晦日や元日も該当します。こうしたお祝いは、宗教だったり、文化的な理由から行われる行事です。いろいろな人が、さまざまな形でこの時期を祝うのは見ていて興味深いですね。みなさんが(出身や立場に関係なく)すてきな年末を過ごせますように。そして、よいお年をお迎えください!



(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)